

別中ありがとう

校 訓
自主・協同・創造・健康
学校通信 NO. 6
令和8年 9月1日

新しい2学期のスタート！

～挑戦する心が君を成長させる～

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まります。皆さんはこの夏、勉強や部活動、家の手伝い、自分の目標への挑戦など、それぞれが自分なりの挑戦に取り組んできたことと思います。

アメリカの指導者ビンス・ロンバルディは、こう言っています。
「完璧である必要はない。だが、成長を求めることをやめてはならない。」2学期は、皆が大きく成長できる学期です。三木市新人大会・体育祭・文化祭、そして8年生のトライやる・ウィークと、大きな行事が続きます。これらの行事こそ、皆さん一人ひとりが主役になれる場です。



体育祭・文化祭は、自分を試すステージです。仲間と力を合わせて一つのものを作り上げることは、決して簡単ではありません。意見がぶつかることもあれば、思い通りに進まない場面もきっと出てきます。そんな時、南アフリカの指導者ネルソン・マンデラは、次のような言葉を残しています。「何事も、成し遂げるまでは不可能に思えるものだ。」

この言葉は、大きな目標ほど、途中では無理に思えても、仲間と努力を続ければ必ず達成に近づいていくという意味です。体育祭や文化祭も同じです。

準備の段階では、「本当にできるだろうか」と不安になったり、難しく感じたりする瞬間があるかもしれません。しかし、皆で力を合わせて挑戦を続けることで、最後には「やればできた」という達成感が生まれます。そして、その過程こそが、クラス全体を強くし、皆さん自身を成長させてくれます。

運動部の皆さんにとって、9月は三木市新人大会という大きな舞台があります。夏の練習の成果を発揮する時です。陸上のウサイン・ボルトは、こんな言葉を残しています。

「私は9秒台を出すために、9年間努力してきた。」

結果が出るまでには、時間も努力も必要です。皆さんの流した汗は、必ず力になります。どうか最後まであきらめず、自分を信じて挑戦してください。

2学期は、努力が成果として表れやすい時期でもあります。

体育祭、文化祭、新人大会。それぞれに皆さんの挑戦の場があります。準備の途中では難しく感じることもありますが、仲間と力を合わせて続けていけば、必ず前に進めます。

その積み重ねが、皆さん自身の成長につながります。どうか、2学期の行事に主体的に挑戦し、自分の力はここまでだと決めつけず、一歩踏み出してください。仲間とともに挑戦し、仲間とともに成長する2学期にしたいと思います。

校 長 高森 伸彦

右三つ巴に込められた願い！

別所中学校の校旗には、中央部分に「巴(ともえ)」のマークが描かれています。正式には「右三つ巴」といい、「別所長治」をはじめとする別所家の家紋をもとに、別所中学校の校章がつくられています。もともと「巴」は、水が渦巻く様子を表した文様だといわれています。



生徒会の皆さんがオリエンテーションで説明したように、「三つ巴」には、①生徒②教職員③保護者・地域がそれぞれの立場で力を合わせ、よりよい学校をつくっていかうという願いが込められています。

右三つ巴に込められた願いを大切にしながら、皆で力を合わせ、心に残る行事を創造していきましょう。

<お願い>

・9月8日(火)に学校徴収金の口座振替が行われます。7日(月)までに、必要金額を入金していただきますよう、よろしくお願いいたします。

・連日厳しい暑さが続いており、14日(月)から体育祭の練習が始まります。

熱中症対策として、お茶等水分補給できるものを多めに持たせていただき、ご家庭でも子どもたちの体調管理等よろしくお願いいたします。

